

和地ひとみレポート No.454

空港などでの水際対策の緩和と全国旅行支援の開始から1か月。

東大和市の新型コロナウイルス関連の現状は



■学級閉鎖は・・・

…コロナ禍が始まって以来、日々の「新規感染者数」に一喜一憂していた頃の感覚を少し忘れかけている今日この頃。テレビや各種報道では、円安の恩恵を満喫している海外からの旅行者の様子や、「全国旅行支援」等の影響により、日本全国の観光地の賑わいぶりの紹介を目にすることが多くなっています。

…一方、このような人々の移動や交流の増加が影響してか、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数も増加傾向。しかし、今年9月26日より、新型コロナウイルス感染症の医師の届出（発生届）の対象者の見直しが行われたことにより、基本的には新規感染者数の全数届出は終了。現在の医師の届け出の対象は65歳以上の方や入院を要する方などの4類型に限定されています。

…これに伴い、東京都が区市町村へ行っていた新規感染者の情報提供も終了。東大和市も市内の感染症発生状況等についての公表は、9月27日分(9月26日時点)をもって更新を終了しています。

【最後の東大和市の感染症発生状況＝9月27日公表分】

※市ホームページより

- ◆新たに発生した患者数：24人
- ◆接触歴あり：11人
- ◆患者の累計数：14,380人
- ◆退院等者数の累計：14,025人

…実際の新規感染者数については把握できなくなっているものの、新型コロナウイルスの感染者数が増加していることは事実。政府分科会の尾身茂会長ら専門家は11月10日に「新しい感染の波に入りつつある」との認識を示しました。

…前述のとおり、市内の新規感染者数は把握できず、公表も終了しましたが、東大和市においては、市内の小中学校で学級閉鎖が発生した場合については、市のホームページで公表を続けています。(もちろん、当該児童等、ご家族及び関係者等の人権尊重と個人情報保護のため、学校名等は非公表です)

…市内の小中学校での感染者数と学級閉鎖の状況については、夏休み明けの9月は小学校での学級閉鎖が多かったのに対し、このところ中学校での学級閉鎖が増えてきている状況です。

…また、一時は落ち着いていた市の職員の新規感染者も、ここに来て、少し増えています。家族の濃厚接触者となり休まざるを得ない職員を含めると、現場では人員不足による業務の負担増が出てきている状況とのこと。

【夏休み明けからの市内の学級閉鎖数の状況】

※市ホームページの10月31日公表分まで

- ◆9月の学級閉鎖：(小学校)9クラス (中学校)0クラス
- ◆10月の学級閉鎖：(小学校)3クラス (中学校)2クラス
- ◆11月の学級閉鎖：(小学校)0クラス (中学校)3クラス

■今月から乳幼児もワクチン接種可能に

…ご存じの通り、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種はオミクロン株に対応した2価ワクチン(以下「オミクロン株対応ワクチン」)を使用した追加接種をメインに実施します。しかし、今現在も12歳以上の市民を対象に1回目、2回目のワクチン接種も行われています。ただし、市の集団接種会場における12歳以上の方の1回目、2回目のワクチン接種は、令和4年3月2日で終了しているため、個別医療機関での接種をとなります。

…また、当初は接種対象でなかった小児についても今現在は接種可能に。さらに11月中旬からは、生後6か月以上4歳以下の乳幼児についても接種可能となり、市では以下の対応を取っています。

【小児・乳幼児の新型コロナワクチン接種について】

◆5歳～11歳のワクチン接種(1・2回目接種)について

➡接種券の送付：

令和4年11月30日までに5歳になる方に接種券を送付。12月以降5歳になる方へは、今後送付する、6か月～4歳の方向への接種券を送付する予定。

➡接種できる場所：

市の集団接種会場(旧みのり福祉園)又は市内の小児科医院

➡使用するワクチン：

- 集団接種・個別接種とも小児用のファイザー社製ワクチン。
- 小児用ワクチンの有効成分量は、12歳以上の方へ接種する量の3分の1。
- ファイザー社製小児用ワクチンについては、接種当日に満5歳～満11歳の方が接種可能。具体的には、接種当日に「5歳になる誕生日の前日～12歳の誕生日の前々日」の方が接種可能。

※11歳のうちに小児用ワクチンを1回接種した場合は、2回目を接種する際に12歳になっても、小児用ワクチンを接種。小児用ワクチンを1回も接種せず満12歳になった場合は、12歳以上用のワクチン(大人用)を接種。

◆生後6か月～4歳のワクチン接種について

▶接種券の送付:

11月9日以降に、生後6か月～4歳(平成29年12月2日～令和4年6月1日生まれ)の方に接種券を送付。6月2日以降に生まれた方には、国の実施内容を踏まえ、順次接種券を送付する予定。

▶接種できる場所:

市内の小児科医院。市の集団接種会場(旧みのり福祉園)では実施していない。

▶使用するワクチン:

- ・乳幼児用のファイザー社製ワクチン。
- ・乳幼児用ワクチンの有効成分量は、12歳以上の方へ接種する量の10分の1。
- ・ファイザー社製乳幼児用ワクチンについては、接種当日に満6か月～満4歳の方が接種可能。具体的には、接種当日に「6か月になる誕生日の前日～5歳の誕生日の前々日」の方が接種可能。
- ・3回接種することで接種が完了。
→1回目接種の3週間後に2回目を接種
→2回目接種の8週間後に3回目を接種

※1回目の接種時に4歳だったお子様が、その後の接種時まで5歳の誕生日を迎えた場合、2・3回目接種にも1回目と同じ乳幼児用ワクチンを使用。乳幼児用ワクチンを1回も接種せずに満5歳になった場合は、小児用(5歳～11歳)のワクチンを接種することになります。

■ワクチン接種率は

…前述のとおり、国も第8波を懸念している中、なかなかワクチン接種が進まない状況。最近では、テレビCMで、「オミクロン株対応ワクチン」の年内接種を呼びかけている状況です。

…このような中、東大和市のワクチン接種率は、東大和市の全人口のうち、1回目が81.6%、2回目が81.0%、3回目が65.5%とのこと。(令和4年11月7日現在)その内容は以下のとおりです。

【5歳以上の市民のワクチン接種率速報(11月7日現在)】

◆一般接種

区分	1回目接種率	2回目接種率	3回目接種率	4回目接種率
65歳以上	94.0%	93.9%	90.8%	78.6%
60歳～64歳	92.2%	92.0%	86.2%	59.2%
50歳代	88.5%	88.2%	77.2%	※4回目の総計は、60歳未満の方や医療従事者等は含まない
40歳代	85.9%	85.4%	66.3%	
30歳代	81.7%	80.8%	55.6%	
20歳代	80.9%	79.9%	50.4%	
12歳～19歳	72.3%	71.4%	36.8%	
総計	87.1%	86.6%	71.5%	75.3%

◆小児接種

区分	1回目接種率	2回目接種率	3回目接種率
5歳～11歳	22.2%	20.3%	2.7%

■ワクチン廃棄の状況は

…2021年2月に医療従事者から先行して始まったコロナのワクチン接種。当初は、ワクチンはとても貴重なものという認識で、何かしらのトラブルでワクチンを廃棄した自治体があるとニュースに。しかし、今現在は、ワクチンが足りないという話も耳にせず、また、廃棄についてもニュースになっていません。

…実際、コロナワクチンについては、当初の想定どおりに接種が進まないことや必要な量を大きく上回るワクチンの確保が原因で、全国の自治体で使用されないまま有効期限が切れて廃棄されるケースが相次いでいる状況です。

…しかし、今年5月中旬、国は、自治体の業務負担などを考慮し、廃棄されたワクチン量を調査する考えはないことを明らかに。独自で記録、公表している自治体はあるものの、実際、国ではワクチン廃棄の公表は不要としています。この国の方針から、日本全国で、廃棄されているコロナワクチンの数量について、国は把握していないということになります。

…東大和市においては、ワクチン廃棄については管理されている状況で、今現在までの廃棄数は以下の通りとなっています。

【東大和市のワクチン廃棄状況】

～R3年～

◆6月6日(ワクチン不明)1回分 当日キャンセルのため

～R4年～(廃棄理由は使用期限経過に伴う廃棄)

◆5月28日(武田・モデルナ) 14瓶(210回分)

◆7月6日(ファイザー小児用) 4瓶(40回分)

◆9月21日(モデルナ) 16瓶(240回分)

◆10月4日(モデルナ) 41瓶(615回分)

◆10月13日(モデルナ) 297瓶(4,455回分)

◆11月5日(モデルナ) 296瓶(4,440回分)

…ワクチン接種1回分の正確な費用は分かりませんが、今年4月に財務省は、新型コロナウイルスのワクチンについて、国が負担する購入費用は全国への配送料などを含めて1回当たり平均で約2,700円と明らかに。これは、米ファイザー、米モデルナ、英アストラゼネカ、米ノババックスの4社から計8億8,200万回分の購入予算2兆4千億円を昨年11月に割り返して出した額。上記の東大和市の廃棄回数はおおよそ1万回ですので、この財務省が割り返した金額をもとに考えれば2,700万円です。

…ワクチンを接種したいのに、ワクチンが無いという状況を守るためには必要数の準備が必要。また、接種する、しないは各自が決定することですので、使用期限による廃棄は仕方のないことですが、廃棄数の把握は、新型コロナの記録として、また、今後のために必要なデータではないかと思えます。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元氣印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102